

〔総務部 管財課 所管〕

02010401 庁舎施設維持管理事務

決算書P. 97

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	114,399	347,488	233,089	
国庫支出金				
県支出金				
地方債		180,000	180,000	庁舎空調設備改修事業債
その他	3,559	3,246	△ 313	庁舎貸付料
一般財源	110,840	164,242	53,402	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

庁舎や付帯設備の維持管理を行い、市民や職員が安全かつ快適に利用できるようにする。

【今年度の取組】

庁舎の適正な維持管理及び長寿命化を図るため、財政計画等も勘案し、修繕計画の見直し検討を適宜進めた。修繕計画に基づき庁舎空調設備改修工事を令和元年度から2箇年で行っている。また、その他小規模な修繕に対応した。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
突発的な修繕件数	件	35	25	18	15

【成果の動向】

修繕計画に基づき、今後の修繕の予算確保を行うとともに、庁舎施設の大規模改修に向けて実施計画等を進めることで成果を向上させる。

【今後の事業の方向性】

修繕計画に基づいて大規模改修を実施し、庁舎施設の長寿命化及び機能向上を図る。また、適正な維持管理が行えるよう、修繕計画の見直しを適宜実施する。



守谷市役所

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	7,213	36,411	29,198	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	7,213	1,070	△ 6,143	土地貸付料
一般財源		35,341	35,341	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利用計画のない未利用市有地については、財産の有効活用を図るため売却し、財源の確保を図る。また、業務委託により除草等を行い適正に管理する。

【今年度の取組】

今年度、本町686-56の1筆を売却した。残っている未活用市有地については、管理上必要最低限度の経費で除草等の維持管理を行った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
貸付面積	m ²	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00
売却面積	m ²	387.00	0.00	7,488.23	※

【成果の動向】

貸付面積の増減はなかったが、板戸井1064-1他2筆(7,110m² 157,200,000円)、本町686-56(378.23m² 11,100,000円)の売却を行い、管理面積が縮減した。

【今後の事業の方向性】

残っている未利用地については売却の可能性を判断する必要があるが、売却を見込めない未利用地においては管理上必要最低限の経費で、適正に維持管理を行っていく。

今後は、久保ヶ丘四丁目の児童館跡地や百合ヶ丘三丁目の仮店舗跡地、そのほか売却可能であると判断した土地については、売却を行っていく。

※現時点での令和3年度目標値は未定

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	4,493	4,140	△ 353	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	4,493	4,140	△ 353	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

契約履行能力及び信用のおける不特定多数の者を競わせ、最も有利な価格で契約を行い、市の事業を確実に実施する。

【今年度の取組】

契約履行能力、実績及び信頼性等の条件を考慮して不特定多数の者の競争により、公平公正な入札執行を進めることで適正な契約を行った。また、確実な入札執行が進められるよう資格審査会等により、入札参加資格状況などの検討を行った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
入札案件の設計額に対する契約額の比率	%	91.00	88.80	93.39	90.27
入札案件の設計額と契約額の差額	千円	341,924	297,810	536,499	580,439

【成果の動向】

法律に基づき、公正公平な入札執行を進めており、適正な価格での契約が行われている。

【今後の事業の方向性】

法律に基づき、公正公平な事業を進め、法令順守により適正に契約を進める。

02010404 公用車配置事務

決算書P. 103

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	7,989	14,274	6,285	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他		348	348	公用車使用料
一般財源	7,989	13,926	5,937	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

公用車の適正な管理を行い、効率的な利活用を進め、円滑に事務事業を進める。

【今年度の取組】

公用車の管理については、一元管理方式により、任意保険の加入、車検、点検、修繕等の車両の維持管理を行った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
一元管理公用車稼働率(日単位)	%	-	59.74	59.04	66.00

【成果の動向】

公用車の管理については、一元管理方式を行っていくことにより、効率的な車両管理を行い、車両稼働率の向上を図られている。

【今後の事業の方向性】

各車両の使用頻度等を基に、車両の入替時期や必要台数等の車両情報の把握を行い、適正な車両管理に努めていく。

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	5,951	5,276	△ 675	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	5,951	5,276	△ 675	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

各課からのバス利用申請に基づいて、委託バス事業者との連絡調整を行い、バスの利用における市主催の事業や行政運営上の必要な事業等が円滑に進められるよう事業調整を行う。

【今年度の取組】

バス利用に際しては、各課からの申請受付の際に事業内容や運行時間等の審査を行い、市主催の事業等が円滑に進められるよう委託バス事業者との事務調整を行った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
大型バスの1台当たりの使用単価	円	52,981	70,807	71,989	72,066
小型バスの1台当たりの使用単価	円	38,590	45,518	48,973	46,080

【成果の動向】

バス利用において、各課からのバス利用申請に基づいて委託バス事業者と事務調整を行うことで、市主催事業等でのバス利用を適切に行っている。

【今後の事業の方向性】

委託バスについては、市主催事業等のための運行事業であり、多人数の移動に際してはバス運行が効果的かつ効率的であることから継続することが必要な事業である。